

南日本放送

活動名	メディアへの理解を深める
実施期間	令和 6 年 12 月 8 日
実施回数	施設訪問 1 回

【実施施設】 鹿児島市立少年自然の家「ジュニア創志塾」

【事業実施の成果・課題】

日頃、MBC のテレビやラジオで気象に関する情報を伝えている気象予報士が、講師を担当した。まずは「番組ができるまで」を説明。

ニュース番組がどうやって制作されているか、番組制作には多くの人が関わっていることなどを伝えた。その上で、VTR「ニュースができるまで～熱血太郎奮闘記～」を視聴。

ニュースを伝える際に大切なこと「速報性」「正確性」「公平性」「公共性」について学んでいただいた。その後、気象予報士の実際の体験も交えながら講話を行った。

クロマキーの仕組み、気象に関するクイズ、タイムリーな情報なども交えながら、情報がどのような段階を経て、視聴者に伝えられているのかななどを解説した。

何か子どもたちが体験できる要素が加われば、より理解も深まるのではないかと感じた。

【事業担当者・講師の感想】

VTR「ニュースができるまで～熱血太郎奮闘記～」は、興味深く見てもらえたように思う。この VTR 以外にも、番組の特集コーナーや気象予報士解説の VTR を使用。VTR があることで、子どもたちが、飽きることなく興味関心を持続することができた。

関係者の方々からも「VTR があるのがよかったですね」との言葉もいただいた。講話の際には、熱心な子どもたちも多く、絶え間なく質問が寄せられた。なかには、「気象予報士になりたい気持ちが強くなった」という子どももいて、メディアに対しての理解を進めることができたのではないと思う。

今回の講話が子どもたちにとって大変意義あるものになったら幸いです。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

- ・ニュース番組や天気予報に関する先生のお話は楽しく、映像はとても分かりやすかった。
- ・ニュース番組ができるまでや天気予報を放送するまでの工夫や苦労など、ご自身の体験をもとに映像を交えてわかりやすく教えてもらった。
- ・天気について前よりも興味が出てきた。
- ・気象予報士になりたいという気持ちが強くなった。